

物的環境に関連するインシデント・アクシデント事例

事例番号 93

発生場所	廊下	精神・意識障害の有無	リスク B. 物の性能のリスク C. 不適切な環境設定・維持管理不足によるリスク
発生場所 (その他)		無	
関連したもの	点滴スタンド、段差、標識・表記	発生内容の分類	
		転倒	

発生内容

点滴スタンドを押しながら渡り廊下を歩行中に転倒する

概要

点滴スタンドを押しながら渡り廊下を歩行中に、段差の部分に点滴スタンドの車輪が挟まり転倒し左半身を強打する。左腕の痛み訴えあり。整形外科受診し、左上腕骨骨折と診断される。

要因

段差が激しかった。段差があることの表示がされてなかった。点滴スタンドの車輪が小さかった。点滴スタンドの車輪が4本足であった。渡り廊下の段差により隙間があり、点滴スタンドの車輪が隙間に挟まり転倒してしまった。また、点滴スタンドは車輪4本足で点滴を下げた上体で歩行するのは不安定であった。

対策

施設課から業者へ連絡し段差を少なるよう対応してもらった。段差があることの表示をした。点滴スタンドを5本足で車輪が大きく安定したものに交換した。

参照

